平成 26 年３月 13 日

各　　位

上場会社名　株式会社明豊エンタープライズ
代 表 者 名　代 表 取 締 役 社 長　梅 木　篤 郎
(JASDAQ コード 8927)
問合わせ先　執行役員管理部長　安 田　俊 治
(電話番号 03－5434－7653)

平成 26 年７月期第２四半期　連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成25年9月13日付「平成25年７月期　決算短信」において発表いたしました、平成26年７月期第２四半期（平成25年8月1日～平成26年1月31日）連結の業績予想より本日発表の実績値との差異が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

（１） 第２四半期業績（平成 25 年８月１日～平成 26 年１月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想（A）	3,100	180	130	140
今回実績（B）	1,996	48	17	73
増減額（B－A）	△1,103	△131	△112	△66
増 減 率	△35.6%	△72.8%	△86.1%	△47.1%
（ご参考）前年同四半期実績 (平成 25 年７月期第２四半期)	4,237	281	237	374

（２） 差異理由

平成 26 年７月期第２四半期における、当社グループの主力事業である不動産販売事業においては、第２四半期連結会計期間に販売を予定していた事業再生ＡＤＲ手続き対象案件を含む各種案件が、第３四半期連結会計期間以降に販売する見込みとなったことから、売上高が想定に対して 11 億３百万円下回る見通しとなりました。また、売上高の減少により営業利益が１億 31 百万円、経常利益が１億 12 百万円それぞれ予想を下回る見込みとなりました。

四半期純利益は、売上高減少による影響に加え、固定資産売却確定に伴う減損損失 10 百万円が発生したものの、事業再生ＡＤＲ手続きに係る債務免除益 44 百万円、私財提供益 23 百万円の発生により損失を吸収し 73 百万円となりました。

以上の事由によりまして、平成 26 年７月期第２四半期の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益を下方に修正いたしております。

通期業績につきましては、第２四半期にて発生した期ズレによる差異について、第３四半期以降計画通り販売を進捗していることから、予想売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の予想数値の修正は据え置きといたしております。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因等により予想と異なる可能性があります。

以　上